

SAPREF Chooses Brava!® for Microsoft® SharePoint® to View and Collaborate on Files

産業分野

- ・石油精製

業種分野

- ・エンジニアリング

企業情報

- ・アフリカ南部の最大の原油精製所
- ・約80,000から90,000の装置とプロセスの図面を管理

チャレンジ

- ・ユーザーが複数のファイルの閲覧に対応できるユニバーサルビューアを与える
- ・大規模、複雑な図面上の特定の項目に取得する必要がある
- ・エンジニアリングと金融部門間のコラボレーションを有効にする
- ・エンジニアに迅速かつ容易に図面に赤入れ(朱書き)する方法を与える

Bravaソリューション

- ・Bravaは、あらゆるファイル形式を表示することができる
- ・エンジニアは、同時に複数の図面を表示することができる
- ・Bravaは、SharePointへの既製の組み込み連携を持っている
- ・BravaとSharePointは強力な検索機能を提供するために一緒に動作する
- ・Bravaは、部門間の共同研究を簡単にする
- ・エンジニアが迅速に図面を朱書きができる

石油精製所を維持することは、複雑なエンジニアリングプロジェクトと数万の図面を必要とします。これらの図面は、特定の項目を検索するのが困難なほど非常に詳細かつ複雑になることがあります。また、エンジニアはしばしば一度に複数の図面を参照する必要があるため、堅牢なマルチファイルビューソリューションを導入することが重要です。南部アフリカ最大の原油精製所であるSAPREFは、これらの課題に正面から取り組みました。

堅牢なビューアの必要性

南アフリカの東海岸、ダーバンの街に位置するSAPREFは年間あたり最大8.5万トンの原油精製能力を持っています。SAPREFのメンテナンスプログラムは、効率的かつ国際的な安全基準に従って厳密に管理されます。日常のメンテナンスに加えて、プラントセクションは検査のために定期的に停止されます。可能な限り安全かつ効率的なこれらの保守点検の努力をするエンジニアチームは、彼らがすぐにファイルを取り込み、正確にそれらを参照するのに役立つビューアが必要でした。これは簡単な作業を考慮していますが、SAPREFは約80,000から90,000の装置とプロセスの図面と関連するプロジェクトのドキュメントのホストを持っていませんでした。特に、SAPREFのエンジニアは、同時に複数の図面を表示したり、図面の検索、マークアップや他部門とのコラボレーションを必要としていました。

一つのリポジトリ – 一つのビューア

SAPREFの情報コーディネーターのデイブ ギャロッド氏は、彼らが直面する課題のいくつかを、“我々の文書管理システムが複雑で、当初、我々には2つの別々のシステムがあった：エンジニアリング図面を管理するものと、ISO 9000の要件に応じてドキュメントを管理するためのシステムである。”と説明しました。

二つのシステムを統合するために、SAPREFは、ユーザーが一つのリポジトリからすべてにアクセスできるように、SharePointを実装することを決めました。しかし、単一のリポジトリだけでは不十分でした。—SAPREFは、マルチファイルの閲覧が可能な全世界的なビューアを必要としていました。“我々が以前持っていたビューアでは、ユーザーは同時に複数の図面を開くことができるが、それだけでは不十分だった”とギャロッド氏は説明しました。

Microsoft SharePoint対応Bravaの展開

ギャロッド氏は最初にカナダのパートナーのオフィスを訪問している時にBrava Enterpriseのことを聞きました。ギャロッド氏はBravaがWebベースのブラウザで、ユーザーがAutoCAD図面、TIFF、JPG、PDFやMicrosoft Officeドキュメントを含むあらゆるファイル形式をデジタルに表示、注釈でき、共同作業も可能なことを知って興味を持ちました。

Bravaでは、ユーザーが別々のファイル形式を開くために別々のビューアを使用する必要はありません。“1つのビューアである、ということ、それは明らかに非常に有利である”ギャロッド氏は言いました。またSAPREFの重要な要件—Bravaの別を満たすことは、ユーザーが一度に複数のファイルを表示することができます。“私は、Bravaは当社にとって有用であることがすぐに理解できた、”とギャロッド氏は言いました。“我々はいくつかのソリューションを検討しましたが、Bravaのセキュリティと使いやすさが際立っていた。”

加えて、Bravaは、SharePointへの組み込み連携ができたのでSAPREFは2011年初頭にSharePointを実装するときに、同時にBravaを展開することができました。“我々はBravaとSharePointを直連携できた一要件の一つだった、”とギャロッド氏は言いました。“プロジェクトは、我々はBravaを最初から実装しなければ、成功しなかっただろう。”

BRAVAはSharePointを強化

SharePointとBravaは、ユーザーが必要とする検索機能を提供する。SharePointはコンテンツ上でユーザーに図面検索をさせることができるし、いったんファイルが開くと、Bravaがユーザーが迅速かつ簡単に図面上の特定の項目を取得することができます。自分のサイトの計画は非常に詳細で広い領域をカバーしていることを強調することについてギャロッド氏は“エンジニアは、彼らは非常に簡単に図面内の情報を関連付けることができるという事実によって迅速に多くの情報を見つけることができる。Bravaは、図面上で特定のタグ番号をズームすることができるという事実は間違いなく作業をスピードアップしている。”と言います。ギャロッド氏は、以前はユーザーが図面内の項目を見つけるために(作業以外に)さらに半時間かかっていたと指摘。“ユーザーはすぐに巨大なエリアを介して特定の図面上のポンプにズームインすることができるという事実は本当に便利です。”と語ります。

財務部と協働

Bravaはまた、SAPREFのエンジニアリング部門と財務部門との資本プロジェクトの共同作業を可能にします。“我々は、エンジニア指向ではない財務からの誰かのために、我々の資産を数値的に識別するが、それが何を意味するものではない、ただ、数字というだけだ。”とギャロッド氏は言います。“Bravaを使えば、私はいくつもの異なる図面を開き、そのサイト上で特定の部分、特定の資産に注目するのに検索機能を使う。そして彼ら(財務部門)は場所を参照することができるし、その関係性が他の資産に関連しているものと非常にはっきりと見ることができる。”

図面のマークアップ

サイト領域がメンテナンスによって影響を受ける場合、SAPREFのエンジニアたちはBravaを赤い線で分けられた領域で使用しています。彼らはBravaのマークアップツールで安全と危険な領域をハイライト表示し、領域全体に配布します(回覧します)。ギャロッド氏は語ります。“これらの変更は単に一時的なものであるため、元の図面を更新し、別のバージョンを作るために製図を取得する必要がないため、Bravaは非常に便利である。”Bravaなら”迅速でアドホックに動作する”。

概要

BravaはSAPREFの操作が安全かつ効率的に運営できるよう支援するために必要な表示、検索、マークアップ機能を提供します。600人ものSAPREFの従業員がBravaを利用することで上向きになり、ギャロッド氏はチームに対してのトレーニングも容易であったと喜んでいました。“Bravaは非常にユーザーフレンドリーだ。これまでユーザーに対し、私は本当にとても多くのデモを行ってきた。私はエキスパートでもなければ、トレーニングも受けたことがないのにーしかし、Bravaを使用することは、何がアドバンテージで、何ができるか、それがどんなに簡単かということを示すことができた。”